

専任教落支援員だより

Vol.4

次世代定住課

TEL(67)2705

■下田地区で「むら歩き」が実施されました

5月29日、以前からワークショップでお世話になっている熊本大学准教授の田中先生と大学関係者、大学生、下田地区住民の方々と下田地区を歩く「むら歩き」を実施しました。これは普段当たり前に目にはしているものを外部からの視点と合わせて見ることで、地元資源を再認識し、あるものを活用した新たな取り組みの発想を得るための手助けとして行うものです。

当日は天候にも恵まれ、むら歩きがスタートしました。大学生にとっては見るものすべてが珍しいようで、興味をもって写真を撮ったり住民の方に昔の生活について尋ねたりするなど、集落を満喫しているようでした。

約1時間半かけて歩いた後は公民館で座談会を行いました。まずは今日の感想を発表し、その後は思い思いにこれまでのことや、これからのことを話し合いました。

ある学生が「遊びに来るときに今日のように車を降りて歩くことはないけれど、歩いてみると魅力を感じることができて、楽しいし大事だと思った」と



皆さん地区内にあるものを興味津々で見っていました。

言っていたことが印象に残っています。また、歩き疲れたということもあつたが、お茶請けに出てきた紅白なますの酸味やお漬物の塩分が体に沁みて美味しくいただけました。

どの地区にも「実はこんなに良いものがあるんですよ」と言える魅力が必ずあるはずですよ。

今回のむら歩きが、地区にある魅力を引き出す取り組みのきっかけになれば幸いです。

(坂本)

南阿蘇村

地域おこし協力隊通信

vol.21

6月から新たに着任した地域おこし協力隊員を紹介します。

6月3日～5日まで職場体験で役場に来てくれた南阿蘇中学校2年生(藤本千尋さん)が、隊員へのインタビューと写真撮影、記事の作成に挑戦してくれました!

はじめてのインタビューと写真撮影、頑張りました!



新しい協力隊員が入りました!

名前:栗下 定行(くりした さだゆき)

出身:東京都

担当:南阿蘇村南阿蘇鉄道復興プロジェクト

趣味特技:モータースポーツ、DIY(ものづくり)

地域おこし協力隊任期中の目標

携われる仕事を全力で取り組み、もっともっと人や観光客を呼び込んで、まちを発展させられるよう頑張ります。